

# 県内経済動向調査結果（平成22年3月分）

平成22年 5月17日

産業政策課

## 概況

県内経済は、製造業で持ち直しの動きが見られるものの、総じて厳しい状況が続いている。

主な業種	状 況
製 造 業	持ち直しの動きが続いている 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比55.4%増、同53.3%増となった。3か月先の業況見通しDIは4.8から▲3.6となった。
建 設 業	公共工事の減少などから先行きの見通しが悪化 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比31.3%増、同7.2%増となった。3か月先の業況見通しDIは▲13.3から▲31.3となった。
小 売 業	引き続き弱い動きとなっている 売上高は前年同月比1.9%減、3か月先の業況見通しDIは▲35.7から▲41.4となった。
サービス業	運輸業で回復の動きが見られる 売上高は前年同月比5.9%増、3か月先の業況見通しDIは11.1から3.7となった。

# 製造業の動向

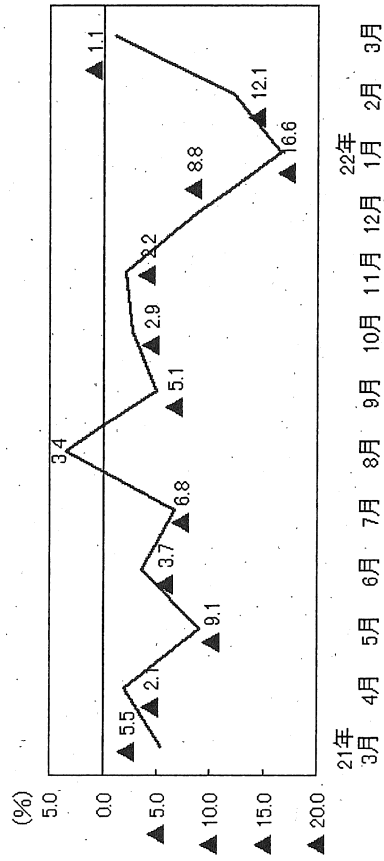
## 1 食料品

### 弱めの動き

生産額は前年同月比1.1%減。3か月先の業況見通しD-Iは▲35.7と変わらぬ。

酒類では、消費者の低価格志向や買い控えにより、落ち込んでいる。調味料関連では、味噌・醤油の売上が不調であった。加工食品では、魚類や肉加工品で生産額が落ち込んでいる。総じて見れば、前年同月比のマイナスが続き、弱めの動きとなっている。

食料品生産額前年同月比



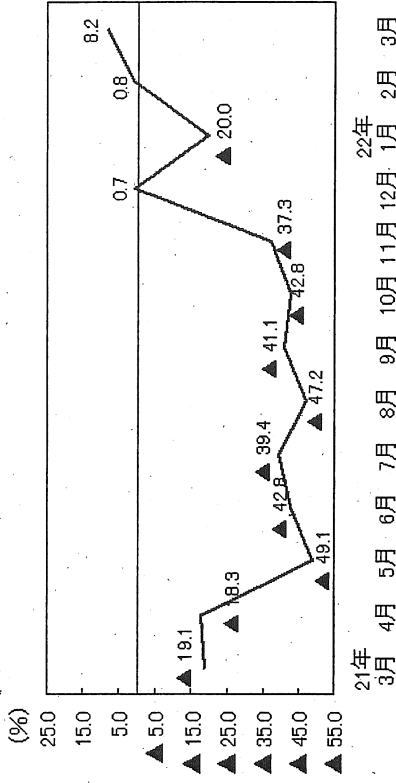
## 2 繊維・衣服

### 弱めの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比8.2%増、同16.8%減。3か月先の業況見通しD-Iは▲16.7と変わらぬ。

学校用スポーツウェアの生産が好調であることなどにより、全体としては、前年を上回る生産額となっている。しかし、景気低迷による消費の冷え込みや気候の影響により生産額が減少している企業も見受けられ、弱めの動きとなっている。

繊維・衣服生産額前年同月比



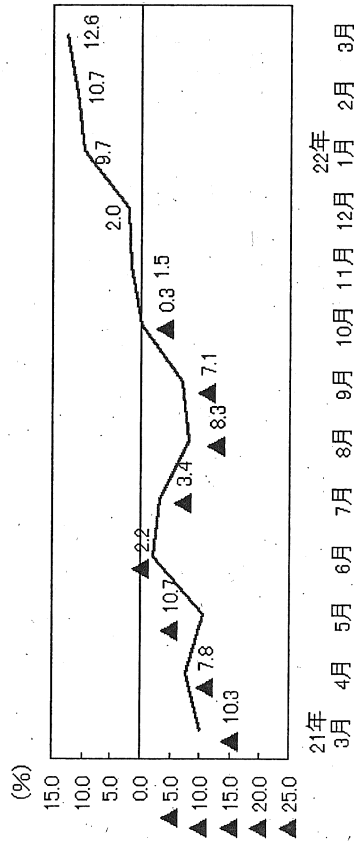
3 木材・木製品

やや持ち直しの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比12.6%増、同13.9%増。3か月先の業況見通しDIは16.7から15.4となった。

合板では、前年同月比プラスとなっており、全体としても5か月連続でプラスを確保し、やや動きの見える状況が続いている。住宅工コポインットの効果がほとんど見られないとしている企業もあるなど、引き続き住宅市況の落ち込みが懸念される。

木材・木製品生産額前年同月比



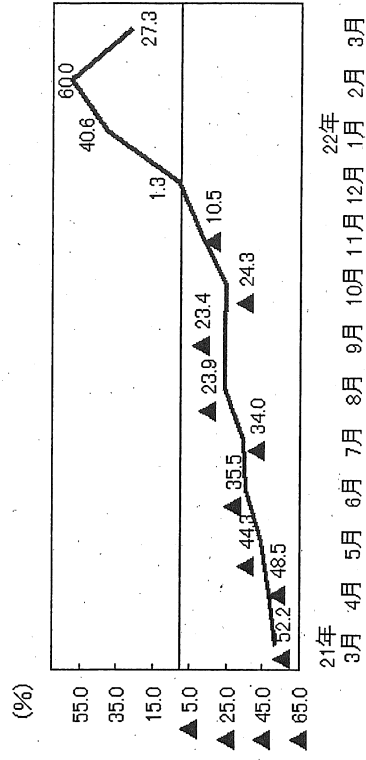
4 鉄鋼・金属製品

弱めの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比27.3%増、同15.9%増。3か月先の業況見通しDIは18.2から9.1となった。

前年の生産額の落ち込みが大きかったことから、前年同月比でプラスになっているとしている企業は多いものの、総じて見れば、回復の動きが見られる。金属の輸送機械部品関連や、コンピュータ関連部品が好調となっているが、鉄鋼の産業設備関連では、発注件数が減少し、新規受注が得られにくい状況となっており、今後も厳しい状況が予想される。

鉄鋼・金属生産額前年同月比



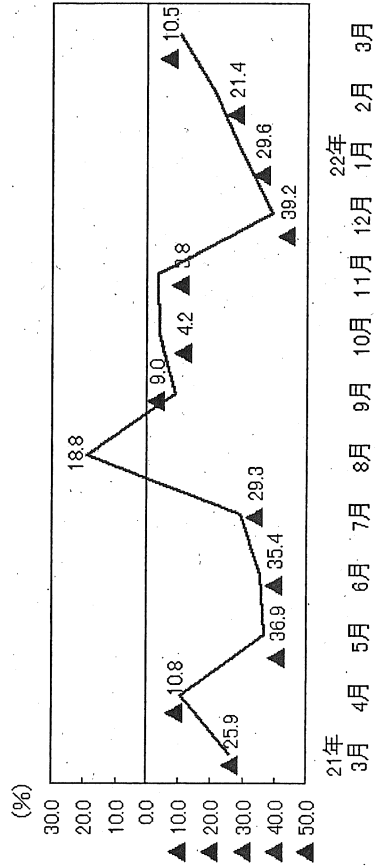
5 一般機械

弱めの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比10.5%減、同32.7%減。3か月先の業況見通しD Iは▲14.3から0.0となった。

公共工事関連で一部持ち直しの動きが見られるものの、総じて見れば、生産額は7か月連続で前年同月比を下回っており、休業日を設ける企業も見受けられるなど、弱めの動きとなっている。

一般機械生産額前年同月比



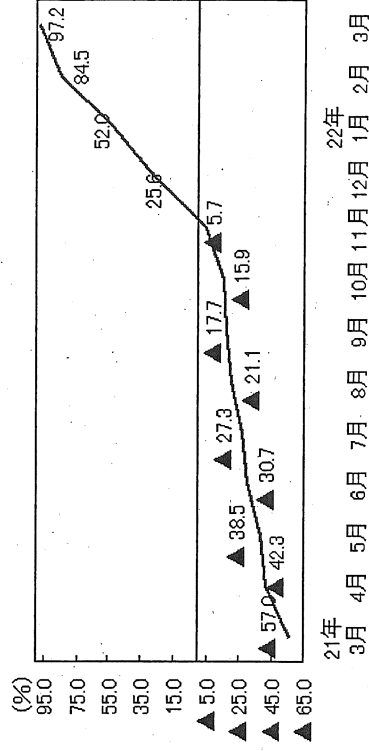
6 電気機械

持ち直しの動きが続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比97.2%増、同96.1%増。3か月先の業況見通しD Iは26.3から5.3となった。

前年の生産額の落ち込みが大きかったために、前年同月比では大きくプラスとなっているものの、一昨年と比較すると18.2%減となっている。コンデンサーや半導体関連で回復基調が続いているほか、電子部品関連で雇用増により増産に対応する企業も見られる。

電気機械生産額前年同月比



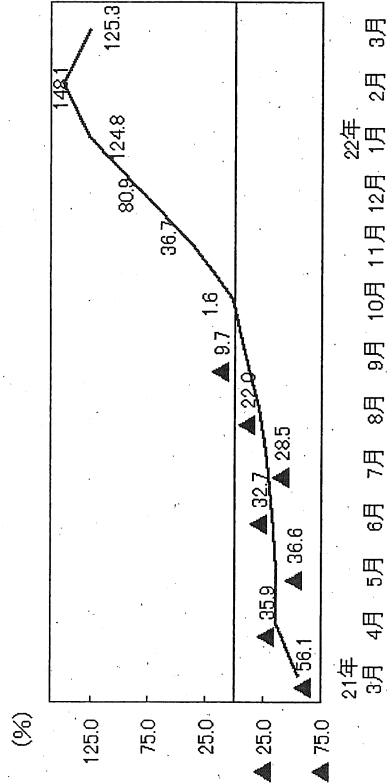
7 輸送機械

回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比125.3%増、同127.7%増。3か月前の業況見通しD Iは▲16.7から▲33.3となった。

前年の落ち込みが大きかったこともあり、調査対象企業の全てで前年同月比増となっているが、総じて好調に推移し、一昨年を上回る生産額となった企業も見られる。

輸送機械生産額前年同月比



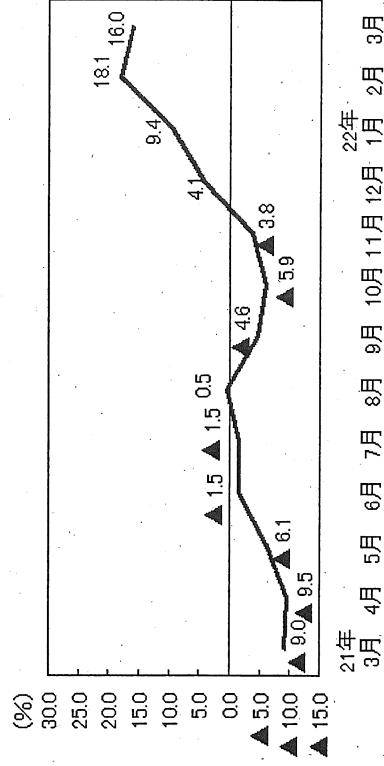
8 精密機械

やや持ち直しの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比16.0%増、同3.9%増。3か月前の業況見通しD Iは37.5から12.5となった。

光ファイバー関連部品やデジタルカメラ関連製品など総じて生産額が増加している。また、計量関連では、業務用はかり受注が良好に推移しており、生産額が上回っている。一方、医療機器関連では、生産個数は同程度であるものの、出荷額が下がっていることから、生産額が前年同月比を下回っている。

精密機械生産額前年同月比



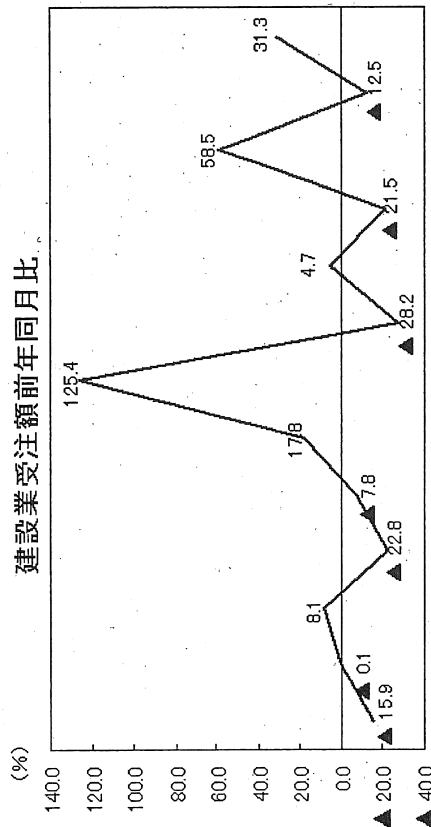
## 建設業の動向

### 建設業

#### 公共工事の減少などから先行きの見通しが悪化

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比31.3%増、同7.2%増。3か月先の業況見通しDIは▲13.3から▲31.3となった。

港湾など国の大型工事の受注により好調だった企業が一部あったことから、全体の受注額は前年を上回ったものの、今後の見通しは依然不透明である。



21年 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月  
22年

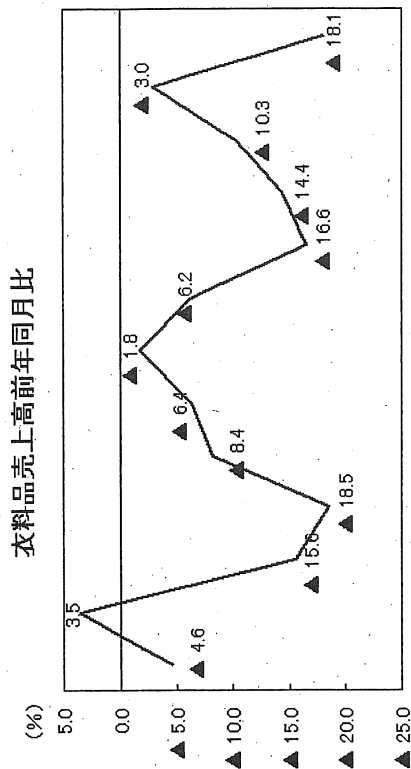
## 小売業の動向

### 1 衣料品

#### 低調な売上となっている

売上高は前年同月比18.1%減。3か月先の業況見通しDIは0.0から▲3.3となった。

寒い日が続いたため、冬物の販売は持続したものの、春物の動きは鈍い。依然として消費マインドが低い状況となっており、必需品のみを購入するなど、売上額は落ち込んでいる。



21年 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月  
22年

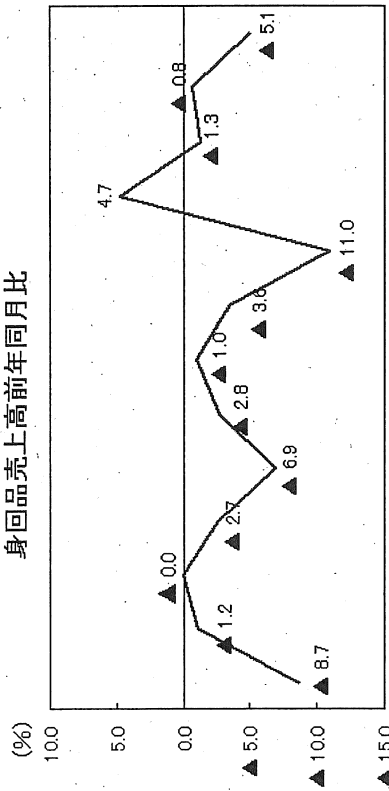
2 身回品

弱含みとなっている

売上高は前年同月比5.1%減。3か月先の業況見通しD Iは▲33.3と変わらぬ。

ホームセンターでは、寒い日が続いたことから、園芸用品の売上げが落ち込んでいる。漆器や手芸用品においても売上げは減少しており、総じて見ると弱含みとなっている。

身回品売上高前年同月比



21年 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月  
22年

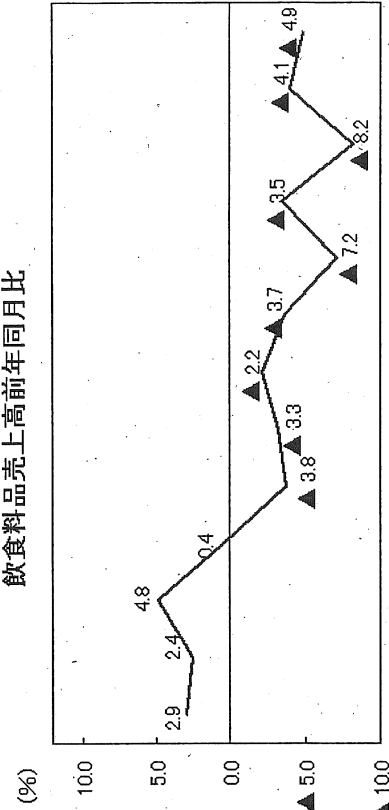
3 飲食料品

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比4.9%減。3か月先の業況見通しD Iは▲50.0から▲53.8となった。

天候不順により野菜価格が高騰し、買い控えや低価格商品への移行が見られ、売上げが依然低下している。コンビニにおいては、客数、客単価の前年比割れが続いている。

飲食料品売上高前年同月比



21年 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月  
22年

# サービス業の動向

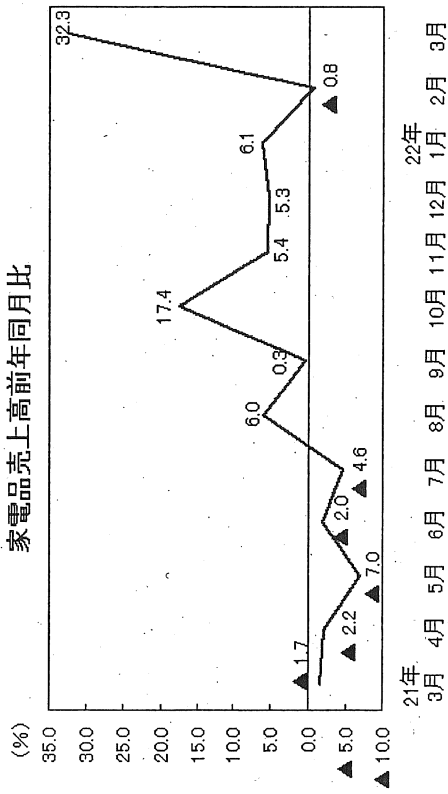
## 4 家電品

### 薄型テレビの好調が続く

売上高は前年同月比32.3%増。3か月先の業況見通しD Iは▲40.0から▲25.0となった。

エコポイント制度変更に伴う薄型テレビの駆け込み需要などにより、売上げが増加した。ただし、4月以降の反動が懸念される。

家電品売上高前年同月比



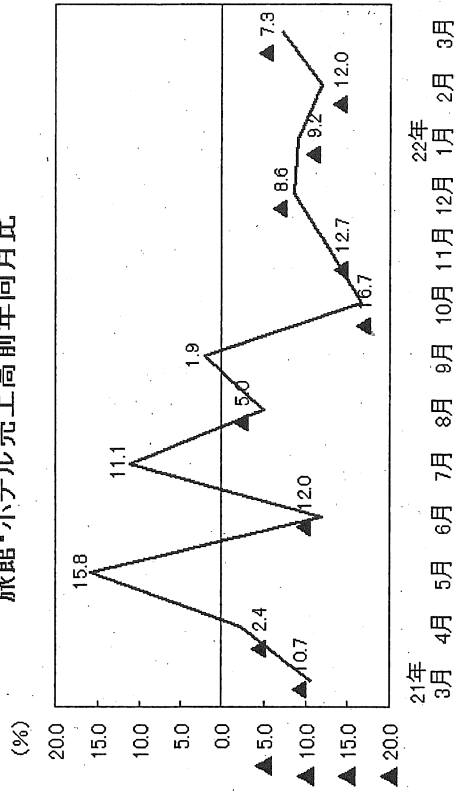
## 1 旅館・ホテル

### 弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比7.3%減。3か月先の業況見通しD Iは26.7から6.7となった。

冠婚葬祭部門の増加により売上げを伸ばした企業も見受けられるものの、宴会部門・宿泊部門ともに総じて売上げが落ち込んでおり、弱めの動きとなっている。

旅館・ホテル売上高前年同月比





2 その他サービス

運輸業で回復の動き

売上高は前年同月比14.3%増。3か月先の業況見通しDIは▲8.3から0.0となった。

運輸業で、自動車関連部品の生産が増加していることの影響などにより、貨物輸送が引き続き好調となっている。

その他サービス業売上高前年同月比

